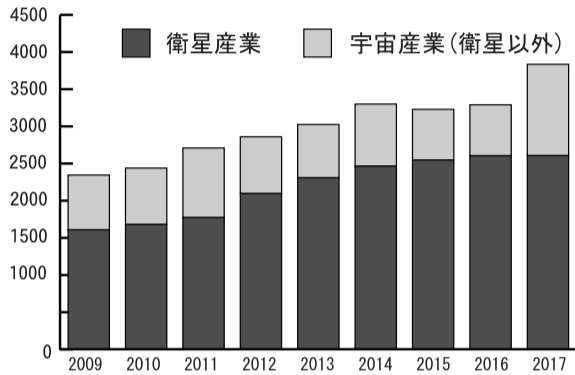


図1 GAFA等ICT企業の宇宙産業への投資状況

企業名(国・概要)	各社の動向
SpaceX (米・ベンチャー)	<ul style="list-style-type: none"> ■テスラモーターズの創業者としても知られるイーロン・マスクが創設したスペースXは、Googleから10億ドルの投資を受け、ロケット開発を行う。コストを抑えながら、4425衛星以上の小型衛星からなる低軌道衛星コンステレーションを構築する計画を発表。 ■2019年4月にFalcon Heavyの燃料ロケットの基幹着地に成功。
「Internet.org」 (米・NGO)	<ul style="list-style-type: none"> ■2013年8月、FaceBookは半導体大手のクアルコム、スマートフォン製造大手のサムスン電子、通信機大手のノキアやエリクソンとともに、「Internet.org」を立ち上げ、2016年2月には、人工衛星から撮影した画像とAIの力を活用して、世界の正確な地図作成に乗り出していくことを発表。
Blue Origin (米・ベンチャー)	<ul style="list-style-type: none"> ■Amazon.comの創業者であるジェフ・ベゾスが創設した航空宇宙企業である。将来の有人宇宙旅行を目的とした事業を進めており、民間資本で大幅に宇宙旅行を安くして、なおかつ信頼性を高める技術を開発。
OneWeb (米・ベンチャー)	<ul style="list-style-type: none"> ■クアルコムやエアバスといった通信会社やメーカーに加え2016年12月ソフトバンクが同社に10億ドルの投資。 ■Intelsatと連携して、同じくKu帯を利用するIntelsat社のIntelsat衛星ネットワークおよびIntelsat Epic衛星ネットワークとも連携体制をとることで、北極・南極圏をカバーすることを目指している。

出所：公開資料を元にCDI作成

図2 宇宙産業市場推移 (単位 億ドル)



出所：SIA-State of satellite industry report 2017.2015等よりCDI作成

急成長 宇宙ビジネス

宇宙産業が、さまざまな企業の新規事業領域として魅力と可能性を持つようになってきた。ロケットの打ち上げや、衛星の製造、電子望遠鏡による宇宙の探索と解明といったものは、既に宇宙産業の過去の概念になっており、今日、宇宙へのビジネス投資を牽引し、大きな産業に発展させているのはICT産業である。ICT企業が宇宙産業に投資する背景・戦略を整理するとともに、情報通信やネット、映像企業にとっての宇宙産業の可能性を見極める。

ICT企業が市場牽引

★IoTと同様の状況に
宇宙産業からもたらされる画期的なデータの活用機会はあらゆる産業に浸透し、宇宙産業はあ

療のサービスが可能に、医療介護分野が企業の新規事業として脚光を浴びたのと同様の状況になりつつある。

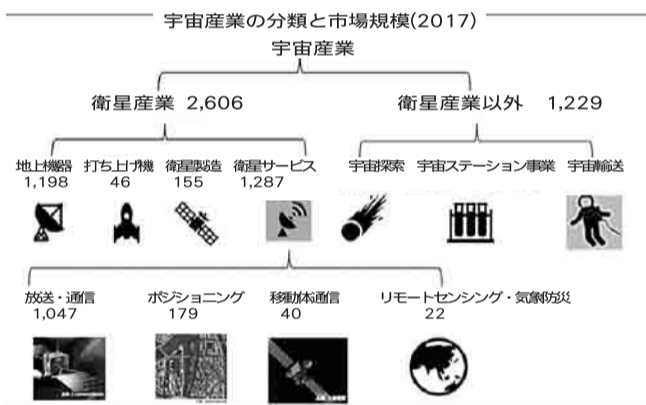
既に同産業には多数のAIやビッグデータベンチャー企業が参入し、多額の資金が流入するゴールドラッシュと化した新興市場になってきた。

宇宙産業に投資をしていくICT企業の代表格は、米グーグル、米アマゾン、米フェイスブックなど、いわゆるGAFAMであり、さらに先行投資が上手なソフトバンクである(図1参照)。これだけでもICT企業が宇宙産業を次世代の戦略的な成長領域

GAFAM、ソフトバンクが投資

年平均成長率6.4%、40兆円市場に

図3 宇宙産業の分類 (単位 億ドル)



出所：我が国の宇宙産業の現状. 2017 内閣府 他

主体は衛星サービス

★衛星サービスが約半数
宇宙産業の17年度の構成は、先に述べたように、衛星産業の68%(2606億ドル)とそれ以外の宇宙探索、宇宙ステーション事業、宇宙輸送などの総称としての衛星以外産業の32%(1229億ドル)となっている。

衛星産業は①衛星サービス②衛星製造③打ち上げ産業(打ち上げロケット製造、打ち上げサービスなど)④地上機器(地球局、衛星通信/管制/電話設備、衛星携帯電話端末/GPS端末、ソフト

トウェアなど)の4分野に分類されるが、衛星サービスが約半数を占める構造になっている(図3参照)。

衛星産業はもとより、宇宙産業で最も大きな割合を占めるのが衛星サービスだ。同サービスは「放送・通信」「ポジショニング(測位システム)」「移動体通信サービス」「リモートセンシング」に分類される。

同サービスを進展させているのが地上設備である。これは衛星放送に追加して、衛星移動体通信や測

高度放送サービスへの送信や開発途上国での衛星放送サービスの拡充、衛星によるインターネット接続サービスの提供エリアの拡大、リモートセンシングなどの新規の需要があり、衛星産業は2600億から着実に成長しているようにだ。

注目すべきは17年度の宇宙産業の伸び具合である。宇宙旅行が民間化されさらに宇宙ステーションにおける無重力状態の研究開発などのニーズが増大しており、今後も拡大する見通しだ。

IP LIVE UTILITY INTEGRATOR HiTech Systems Limited

リモートプロダクションを実現する最も簡単なソリューション

リモートサイト ※当社

オーディオ/2W・4Wインカム/タリ /GPIO/RS422・232

フロント

リア

IPネットワーク

CCU 1 CCU 2 CCU 3

サブコントロール

中継先にカメラを置いて、制作は遠隔地の放送局とIPで接続することができ、4K映像は最適なコーデックを使用してIP伝送を行い、カメラへのタリ、インターカムやRS422データ等をIP LIVE UTILITY INTEGRATORで伝送できます。もはや、中継先に多くの機材を輸送するコストやスタッフの人員費を抑えることができる真のリモートプロダクションを実現することができます。

松田通商株式会社
http://mtc-japan.com

本社 〒107-0062 東京都港区南青山3-3-15 MTCビル Tel: 03(5413)4611 Fax: 03(5413)4618
大阪営業所 Tel: 06(6101)2822 Fax: 06(6101)2823 Mail: inquiry@mtc-japan.com

12G-SDI 対応 LiveU

モバイル中継装置

LU600 4K-SDI

- 4K-SDI 対応 (12G-SDI/3G-SDI x4)
- 最大 11 回線ボンディング (内 LTE x8 回線)
- 高速起動 (約 30sec)
- タッチパネル操作

LU300HEVC

- 小型軽量設計
- 最大 6 回線ボンディング (内 LTE x4 回線)
- 高速起動 (約 30sec)
- JOG コントローラ操作

LiveU レンタル好評受付中!!

LiveU 送信機、又は送受一对向をお貸出。(モバイル回線付き)
海外レンタルにも対応、お問い合わせください!

三信電気株式会社 ソリューション営業本部 映像システム営業部
〒108-8404 東京都港区芝 4-4-12 Tel: 03-5484-7270 / E-mail: eizo-info@sanshin.co.jp
http://www.sanshin.co.jp/business/solution/vd